

第 34 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 議 事 録

1. 開催日時 平成 30 年 8 月 10 日（金） 10:00～11:30

2. 開催場所 奈良市役所 北棟 6 階 第 22 会議室

3. 出席者

会 長 奈良市長 仲川げん
副 会 長 京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻教授 藤井聡
委 員 近畿運輸局奈良運輸支局長 松尾武文 （代理） 小西聡
委 員 近畿地方整備局奈良国道事務所長 原久弥
委 員 奈良市自治連合会代表 尾形季久雄
委 員 公益社団法人奈良市観光協会会長 乾昌弘 （代理） 門脇信義
委 員 西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部大阪支社総務企画課長 梅澤浩二
（代理） 鹿瀬拓哉
委 員 近畿日本鉄道株式会社総合企画本部計画部長 金口正幸
委 員 公益社団法人奈良県バス協会専務理事 山口勝彦
委 員 奈良交通株式会社乗合事業部統括部長 山野豊
委 員 奈良県タクシー協会専務理事 吾妻孝義
委 員 奈良県タクシー協会奈良市部会業務部長 服部圭蔵 （代理） 服部光夫
委 員 奈良県交通運輸産業労働組合協議会事務局長 霜永勝一 （代理） 今西宏
委 員 奈良県奈良警察署長 宮本勝弘 （代理） 東宏英
委 員 奈良県警察本部交通部交通規制課長 萬谷充宏
委 員 奈良県奈良土木事務所長 木村道仁
委 員 奈良県県土マネジメント部次長 森本修
委 員 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局次長 梅原馨
委 員 奈良市市民生活部長 川尻茂

（欠席）

委 員 社団法人奈良市商店街振興会会長 正木康雄

4. 議事

◆事務局からの説明

- (1) 平成 29 年度決算と監査報告
- (2) 平成 30 年春期の取組内容と結果（速報）
- (3) 平成 30 年秋期の取組内容（案）

◆審議内容（主な意見）（●：委員の意見　○：事務局回答）

(1) 平成 29 年度決算と監査報告について

- ・意見なし

(2) 平成 30 年春期の取組内容と結果（速報）について

- 現在建設中の（仮称）登大路バスターミナルは駐車機能はなく乗降機能のみであるとのことだが、バスの待機場所について教えていただきたい。
 - （仮称）登大路バスターミナルは平成 31 年春の供用に向けて工事中である。バスの待機場所は奈良公園から少し離れた郊外の設置を計画しており、現在調整中である。
 - 市営 JR 奈良駅駐車場を活用した社会実験では、駐車率が向上しているが、大宮通の渋滞緩和に効果があったといえるのか。5 月 4 日の最大渋滞長が昨年と比べて減少しているが、社会実験による効果といえるのか。
 - 社会実験による直接的な効果であると断言はできないが、社会実験に参加した人へのアンケートから、この取組によって行動を変え、市営 JR 奈良駅駐車場に駐車場を変えたという事実があるので、転換の効果はあったと考えられる。
 - 5 月 5 日の渋滞状況を教えていただきたい。
 - 5 月 5 日は渋滞長を観測していない。目視では 5 月 4 日ほどの渋滞はなかった。
 - 社会実験の結果、市営 JR 奈良駅駐車場で奈良公園へ向かう交通量の 3%を減少させている。交通工学的に効果があると考えられる。また、半数以上が道路上の看板で知ったというアンケート結果から看板による広報の効果があると考えられる。
 - 社会実験の利用者の満足度を調査したか。
 - 今回のアンケートは駐車直後の調査であったため、満足度や意向は聞いていない。次回は利用後の感想を把握したい。
 - メディアに取り上げられたことが成功要因の一つである。各社に取り上げられた理由をヒアリングしてはどうか。メディアコントロールが重要である。
- ※取り上げた理由の一つとして、バス乗車券の無料配布が珍しいことがあげられた。継続的に実施するのであれば、さらに注目度は上がると考える。（傍聴席メディア関係者からの意見）
- パークアンドライド（P&R）を実施した 3 駐車場の総駐車台数は増加しているのか。以前から奈良市役所駐車場、国道 24 号高架下駐車場を利用していた人が無料乗車券を目当てに、市営 JR 奈良駅駐車場に駐車場所を変更していないか等の検証結果があれば、効果が分かりやすい。

- 3 駐車場の総駐車台数はデータを確認する。無料駐車場から市営 JR 奈良駅駐車場に変更している可能性もあるが、無料駐車場、市営 JR 奈良駅駐車場のどちらも利用台数が増加しているので、新規の利用者もが増加していると考えられる。
- 無料レンタサイクルはどの程度利用されているのか。自転車利用者への駐輪場の案内が不足している。また、レンタサイクルの案内看板はどの程度効果がみられたのか。
- P&R 実施期間中、レンタサイクルの利用状況は、1 日あたり総数 160 台に対して平均 100 台弱程度の利用があった。5 月 4 日は過去最大の 205 台の利用があった。奈良市役所駐車場利用者の約半数がレンタサイクルを利用している。
- レンタサイクルの効果を PR した方が良いと考える。駐輪場 MAP があればより良い。
- 現在、P&R を管理している民間企業が作成した駐輪場 MAP を利用者に配布している。駐輪場の整備は課題と認識している。
- 8 月 16 日から開始する大仏殿バスターミナルの完全予約制について、無予約車への案内と規制はどのように対応するのか。
- 大仏殿バスターミナルは広報にも力を入れており、予約数も高まっている。無予約車への対応としては、8 月 16 日から 8 月 31 日の間は高畑駐車場での乗降を案内する。9 月以降は、高畑駐車場も含めて完全予約制としたいと考えている。
- 大仏殿交差点で違法に降車させるバスへの対応はどのようにするのか。
- 交差点にガードマン等を多く配置する。また、予約した際に発行する予約証の掲示を徹底し、バス会社や旅行会社等へ完全予約制であることを周知する。

(3) 平成 30 年秋期の取組内容（案）について

- 奈良市役所駐車場と国道 24 号高架下駐車場でも乗車人数分の木簡型一日乗車券を配布するということだが、現在配布なしでも 500 数十名利用している。さらに利用者を増加したいという意図があるということか。
- ピーク時の駐車容量はほぼ満車だが、ご指摘のとおり増やしたい考えである。例えば周辺のスペース、空き地や民間駐車場との連携で、駐車容量の拡大が可能か、検討したい。
- 社会実験を知らずに利用した方をどのように区別するのか。
- 駐車場のゲートですべての方に周知する。駐車場利用者に木簡型一日乗車券の受け取りを判断していただく。
- 秋の社会実験では、奈良市役所駐車場と国道 24 号高架下駐車場には先着 50 名に木簡型一日乗車券を配布するのか。市営 JR 奈良駅駐車場には人数制限なしに木簡型一日乗車券を配布するのか。
- それぞれ期間が異なる。奈良市役所駐車場と国道 24 号高架下駐車場は社会実験期間の 11 月 3 日、11 月 4 日は 9 時～15 時の間に利用された方全員に木簡型一日乗車券を配布する。その他の P&R 期間中は先着 50 名に配布する。
- 一般的に 18 時以降滞在する人は食事や宿泊するため観光消費額が高いと言われている。現在の P&R 駐車場が 18 時に閉まること等も、このような観点から仕掛けや仕組みを検討してはどうか。

以上